

3月12日（金）

予報ほど雨が降りませんでした。

昨日まで、各社の狛犬の調査に行ってましたが、肝心の自分の神社の狛犬は調べていませんでした。灯台下暗し、とはこのことですね。じっくり見ると、うちの狛犬もいろいろと特徴のある狛犬です。

話変わって、夕刻、妻が手水舎のところで、なにかガサガサと音がすると思っていたら、キツネが出てきたといいます。写真を撮ろうとしたところ、素早く逃げてしまったとのこと。キツネの目撃情報は過去にもあり、神社の森にはお稲荷さん伝説が昔からありました。今は森の中に稲荷神社を祀っていますが、なにかを伝えにきたのかもしれません。「もっと、しっかり祭れ」「お供えをしっかりとしろ」というような要求なのか、なにかの前兆を知らせにきたのか。さてさて、キツネの出現は何を意味するのでしょうか。